



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4972 URL http://www.soken-ce.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 逢坂 紀行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長(氏名) 滝澤 清隆 (TEL) 03-3983-3268  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,736	△9.0	392	△32.0	313	△44.5	252	△42.5
2019年3月期第1四半期	7,401	17.0	577	△0.5	564	2.7	439	4.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 380百万円(78.5%) 2019年3月期第1四半期 213百万円(17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	30.50	—
2019年3月期第1四半期	53.04	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	34,949	22,475	64.3
2019年3月期	36,608	22,550	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 22,475百万円 2019年3月期 22,550百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当55円

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当55円

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,400	△1.3	1,200	7.9	1,150	7.7	900	10.9	108.62
通期	32,500	3.8	2,700	27.7	2,600	27.6	2,000	36.7	241.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,300,000株	2019年3月期	8,300,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	13,924株	2019年3月期	13,924株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,286,076株	2019年3月期1Q	8,286,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦が深刻化・長期化するなかで中国の景気減速傾向が顕著となり、世界経済への影響が懸念され、国内においても輸出や生産面での停滞感が強まるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、アジア地域での事業規模拡大と収益性向上、革新的な材料・技術開発による事業領域の拡大を果たすために、中国市場での大型液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大に応じた生産能力増強や市場・顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力の強化による既存事業の収益基盤の強化、高付加価値製品領域へのリソースシフトやグループ全体での販売・開発・生産体制の最適化等による事業構造改革の推進、技術革新が進む自動車・ヘルスケア分野等での他社協業など自前主義からの脱却による新たな事業領域の創出に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、中国景気の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受けてケミカルズの販売が減少したことなどにより、売上高は67億36百万円（前年同期比9.0%減）となりました。利益面では、今後の事業領域拡大に向けた費用増や人民元安に伴う為替差損の計上などにより、経常利益は3億13百万円（前年同期比44.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億52百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### <ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は61億16百万円（前年同期比8.2%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、中国市場における大型液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が増加したものの、その他電子材料用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は39億30百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散フィルム用途向けは堅調に推移したものの、電子部品関連用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は6億15百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が減少し、売上高は5億41百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

加工製品は、中国市場における電子情報機器用途向けなどの機能性粘着テープの販売数量が減少したことなどにより、売上高は10億28百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

#### <装置システム>

装置システムについては、国内設備投資が堅調に推移するなか、前期並みの受注は確保したものの、設備関連の工事完成高が前年同期を下回り、売上高は6億20百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて16億58百万円減少し、349億49百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ18億19百万円減少し、197億24百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ1億60百万円増加し、152億25百万円となりました。

一方、負債については支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少したことなどにより、前期末に比べ15億83百万円減少し、124億74百万円となりました。

当期末における純資産は、為替換算調整勘定が増加したものの、利益剰余金が減少したことなどにより、前期末に比べ75百万円減少し、224億75百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末61.6%から2.7ポイント増加し64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,010,851	2,864,875
受取手形及び売掛金	9,466,666	9,134,824
電子記録債権	505,887	540,611
有価証券	3,500,000	2,500,000
商品及び製品	3,673,515	3,237,458
仕掛品	49,794	88,984
原材料及び貯蔵品	1,035,909	1,134,759
その他	315,408	233,945
貸倒引当金	△14,761	△11,425
流動資産合計	21,543,270	19,724,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,109,841	14,250,637
減価償却累計額	△7,824,062	△7,961,609
建物及び構築物（純額）	6,285,778	6,289,028
機械装置及び運搬具	17,305,051	17,390,273
減価償却累計額	△13,870,264	△14,004,309
機械装置及び運搬具（純額）	3,434,786	3,385,963
土地	1,233,158	1,238,908
建設仮勘定	750,025	929,674
その他	2,438,876	2,469,565
減価償却累計額	△1,908,447	△1,926,258
その他（純額）	530,428	543,306
有形固定資産合計	12,234,177	12,386,881
無形固定資産		
その他	254,673	318,426
無形固定資産合計	254,673	318,426
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,735	959,293
関係会社出資金	159,753	162,236
繰延税金資産	830,346	828,991
その他	558,838	573,242
貸倒引当金	△3,120	△3,120
投資その他の資産合計	2,576,553	2,520,644
固定資産合計	15,065,404	15,225,952
資産合計	36,608,674	34,949,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,660,764	5,930,943
短期借入金	1,206,811	1,153,679
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	105,730	51,547
賞与引当金	584,821	243,566
役員賞与引当金	49,000	13,750
完成工事補償引当金	9,300	4,300
工事損失引当金	3,850	4,730
その他	1,903,983	1,652,813
流動負債合計	10,764,262	9,295,330
固定負債		
長期借入金	1,360,000	1,240,000
退職給付に係る負債	1,914,431	1,919,570
その他	19,841	20,023
固定負債合計	3,294,273	3,179,594
負債合計	14,058,535	12,474,924
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,383,088	3,383,088
利益剰余金	14,819,607	14,616,569
自己株式	△11,340	△11,340
株主資本合計	21,552,918	21,349,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,584	299,804
為替換算調整勘定	818,985	989,718
退職給付に係る調整累計額	△170,349	△164,342
その他の包括利益累計額合計	997,219	1,125,181
純資産合計	22,550,138	22,475,062
負債純資産合計	36,608,674	34,949,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,401,309	6,736,431
売上原価	5,175,664	4,578,284
売上総利益	2,225,644	2,158,147
販売費及び一般管理費	1,647,842	1,765,226
営業利益	577,801	392,921
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,467	13,292
補助金収入	40,430	28,424
雑収入	11,862	18,457
営業外収益合計	64,760	60,173
営業外費用		
支払利息	18,787	16,478
持分法による投資損失	4,185	4
為替差損	50,257	116,981
雑損失	4,700	6,339
営業外費用合計	77,929	139,803
経常利益	564,632	313,291
特別利益		
固定資産売却益	30	—
投資有価証券売却益	—	16,135
特別利益合計	30	16,135
特別損失		
固定資産除売却損	4,402	957
特別損失合計	4,402	957
税金等調整前四半期純利益	560,260	328,469
法人税等	120,749	75,773
四半期純利益	439,510	252,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,510	252,696

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	439,510	252,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,112	△48,779
為替換算調整勘定	△203,040	168,064
退職給付に係る調整額	8,040	6,007
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,151	2,669
その他の包括利益合計	△226,265	127,961
四半期包括利益	213,245	380,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,245	380,657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,664,904	736,404	7,401,309	—	7,401,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	61	—	61	△61	—
計	6,664,966	736,404	7,401,371	△61	7,401,309
セグメント利益	529,116	31,118	560,235	17,566	577,801

- (注) 1. セグメント利益の調整額17,566千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,116,007	620,423	6,736,431	—	6,736,431
セグメント間の 内部売上高又は振替高	78	95	173	△173	—
計	6,116,085	620,518	6,736,604	△173	6,736,431
セグメント利益	357,663	17,876	375,539	17,381	392,921

- (注) 1. セグメント利益の調整額17,381千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。